ＭＳ３１３-Ｂ１００１/２
GRリヤバンパースポイラー
取付・取扱要領書

この度はGRリヤバンパースポイラーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、 取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、 正しい取付け、 取扱いを実施してください。
なお、 本書は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MS313-B1001-A0	ﾊﾟｰﾙﾎﾜｲﾄ （W24）	ＲＯＯＭＹ ’１６．１１～ ＴＡＮＫ ’１６．１１～	
MS313-B1001-A1	ｼｬｲﾆﾝｸﾞﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙ （W25）		
MS313-B1001-C0	ﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶ （X07）		
MS313-B1001-J1	ﾚｰｻﾞｰﾌﾞﾙｰ （B82）		
MS313-B1002-NP	未塗装品 （ﾌﾟﾗｲﾏｰ処理品）		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 https://www.trdparts.jp/

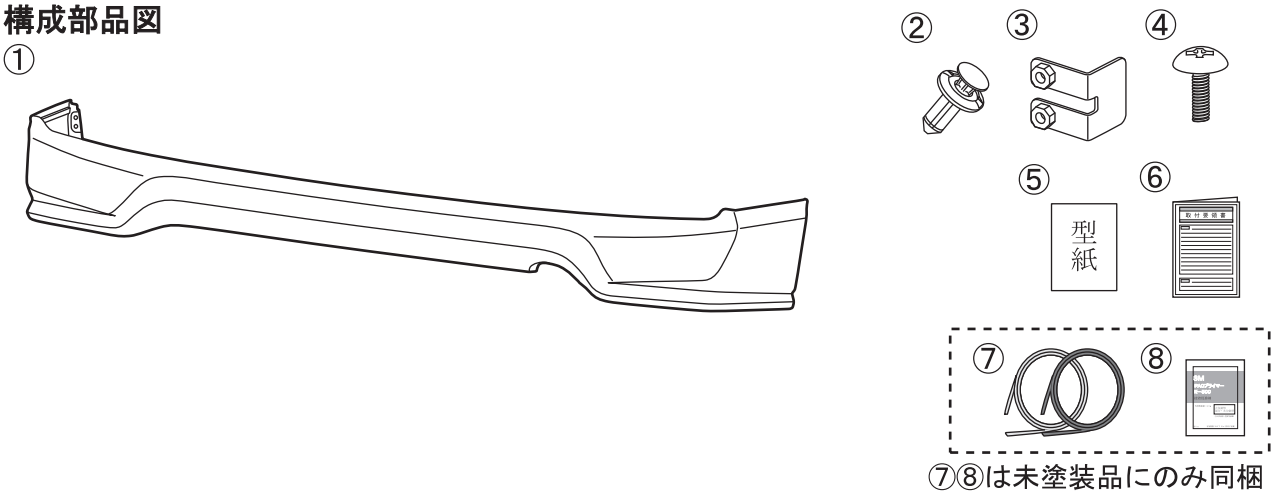
■ 構成部品

No.	品　名	個数	備考
①	リヤバンパースポイラー	1	
②	クリップ	4	
③	ブラケット	2	
④	トラスビス	4	４×１５
⑤	型紙	1	
⑥	取付・取扱要領書（本書）	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。
以下、MS313-B1002-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	品　名	個数	備考
⑦	モール	(各1)	黒／グレー Ｌ＝２１００mm
⑧	ＰＡＣプライマー	1	Ｋ－５００

■ 構成部品図



⑦⑧は未塗装品にのみ同梱

取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）または「(株)タクティー取扱いのシリコンオフ」を使用して確実な脱脂を行ってください。
指定以外のシリコンオフは使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が２０℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後２４時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。

❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。

❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので７０℃以下で乾燥させてください。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

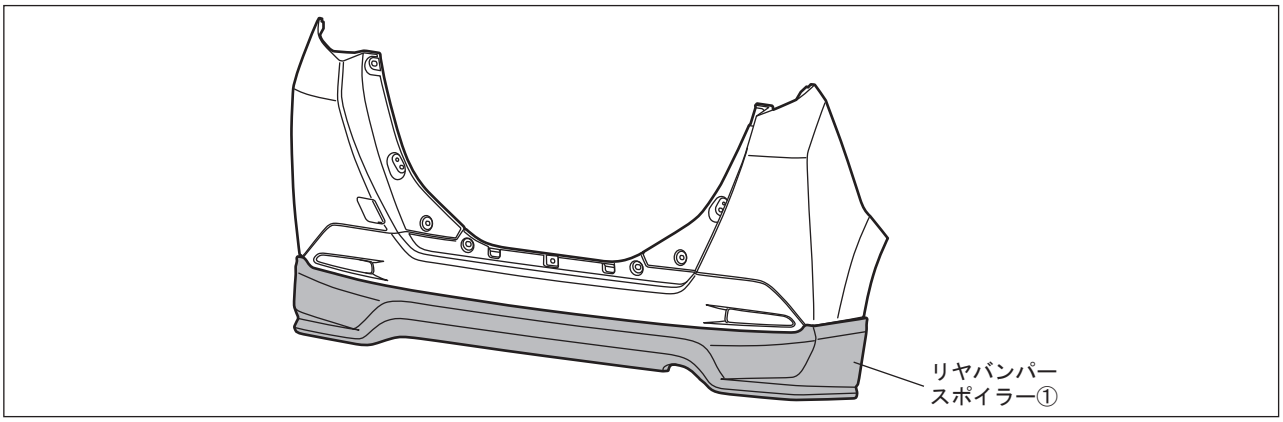
■ 目次

１．表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．取付け・取扱いご注意(作業者の方へ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・・・３
４．取付け要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３～８
５．取付け後の確認・点検・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
６．モール推奨カラー表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・加工用工具（ハサミ、カッター、ドリル、キリ、エアーソー、リベッター等）・ヤスリ・メジャー
・保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 取付構成図



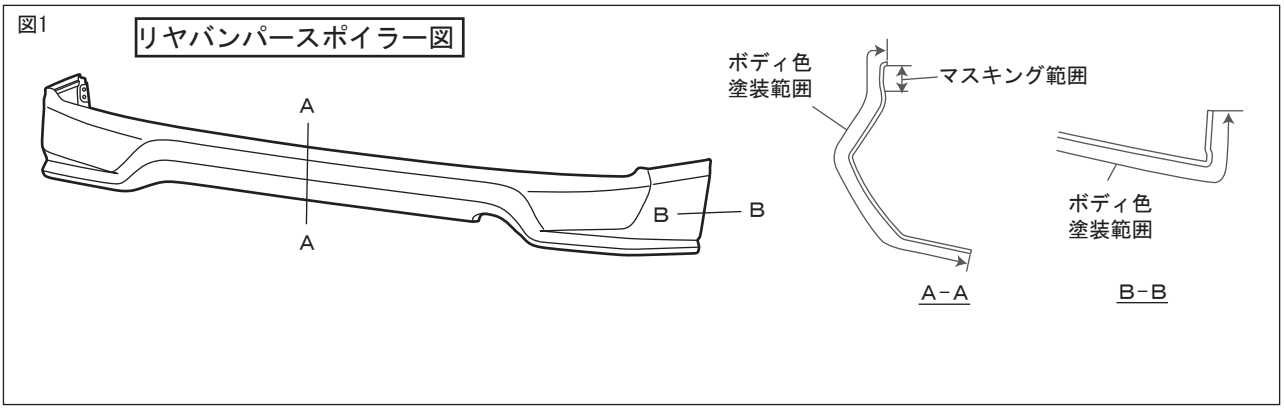
■未塗装品の取扱いについて

下記は、未塗装品(MS313-B1002-NP)の塗装前、塗装後の作業を記載しています。下記要領に従い作業を行ってください。

□リヤバンパースポイラーの塗装

※本取付・取扱要領書は、主にＲＨを示しております、ＬＨも同様に行ってください。

図1



1. 図１のようにリヤバンパースポイラー①をボディ色で塗装する。

⚠注意：脱脂をする場合は、ＩＰＡ又はホワイトガソリンを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

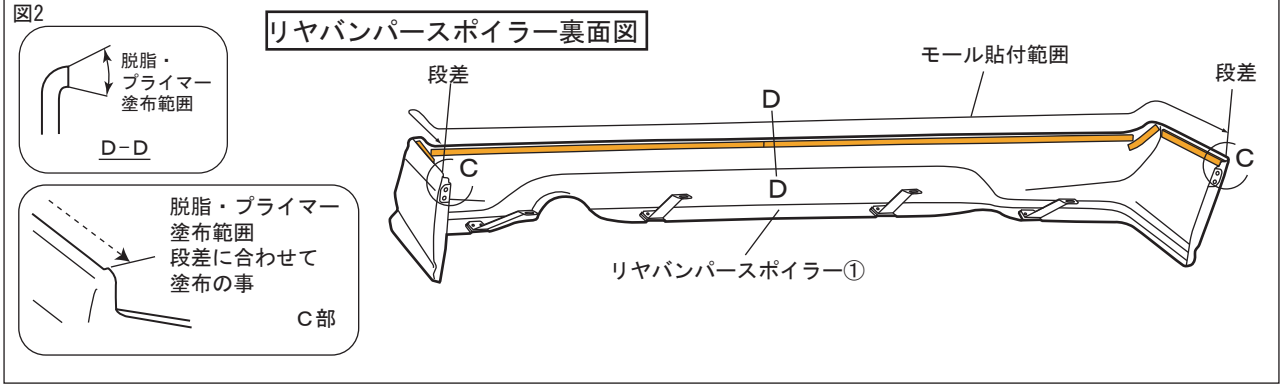
⚠注意：モール貼付面、両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして、対応してください。

⚠注意：乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□モールの貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にＲＨを示しております、ＬＨも同様に行ってください。

図2

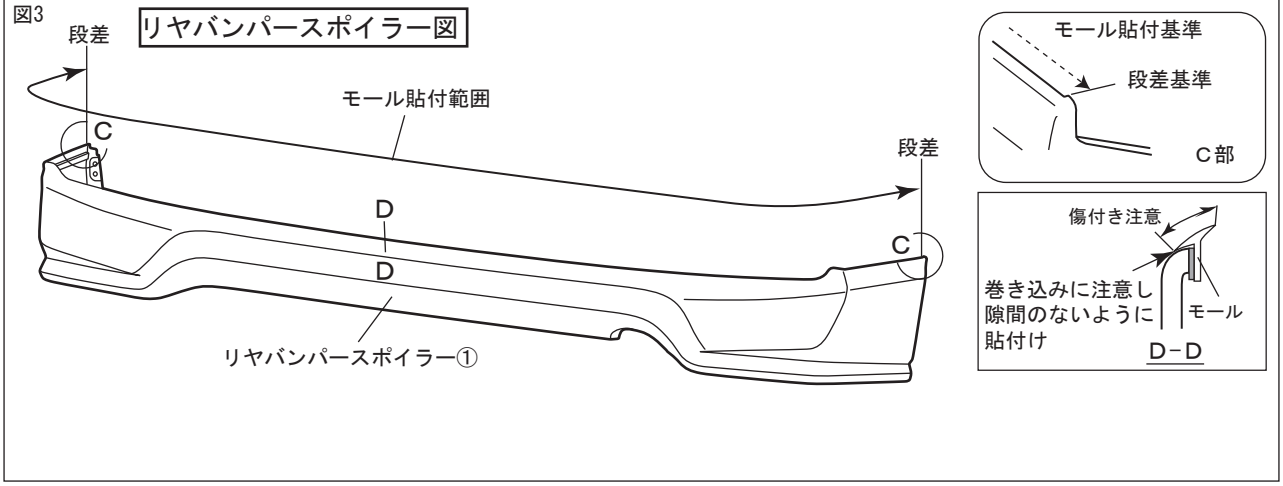


1. 図２のようにモール貼付け部の汚れを取り除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂し、ＰＡＣプライマー⑧を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。又、プライマーのはみ出しは、シミの原因になりますので注意してください。

アドバイス：脱脂、プライマー塗布後は、１０分以上乾燥させてください。

図3



2. 図３のようにリヤバンパースポイラー①に、モール⑦の離型紙を剥がしながら、貼付け確実に圧着する。

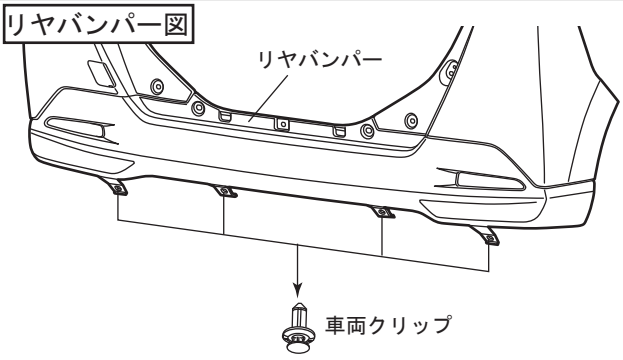
{４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上}

アドバイス：モールは長めに設定されているので､長さを合わせてハサミ等で切り落としてください。

⚠注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及びスポイラーの貼付部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

⚠注意：モールは、二色同梱されています。巻末の推奨カラー表を参照してください。

図4 リヤバンパー図



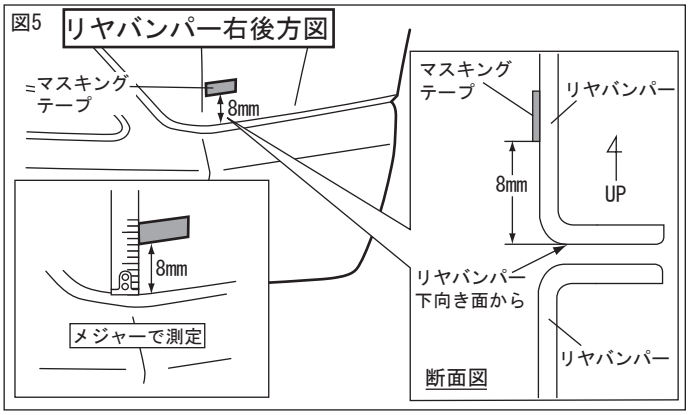
□取付準備

※本取付・取扱要領書は、主にＲＨを示しております、ＬＨも同様に行ってください。

1. 図４のようにリヤバンパーから車両クリップを取り外す。

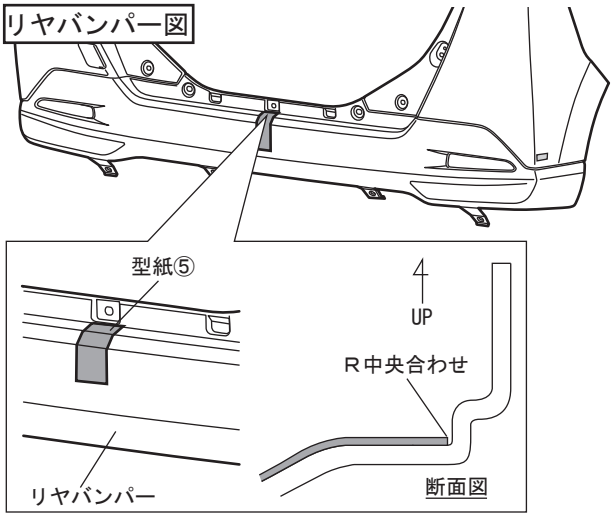
⚠注意：取外した車両クリップは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図5 リヤバンパー右後方図



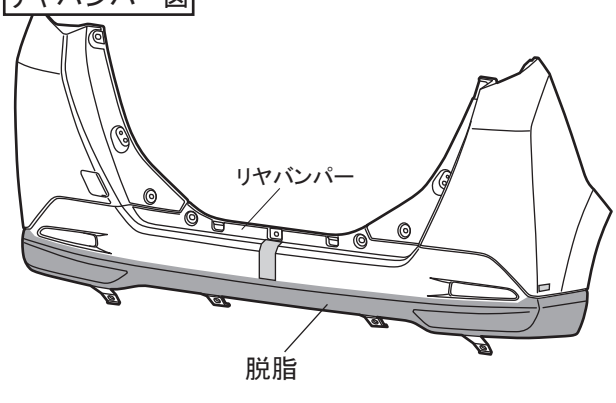
2. 図５のようにリヤバンパーの端末から寸法を測り、拡大図のようにリヤバンパーにマスキングテープ等を貼付け、マーキングする。（左右各１箇所）

図6 リヤバンパー図



3. 型紙⑤を切り取り、図６のようにリヤバンパー中央部に、高さ位置出し用の型紙⑤を貼付ける。（１箇所）

図7 リヤバンパー図

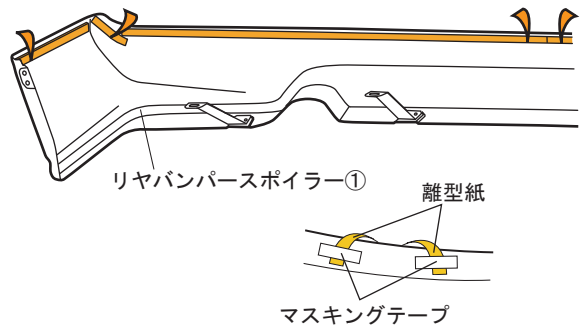


4. 図７のようにリヤバンパースポイラー①取付部の汚れを取り除き、ＩＰＡ又はホワイトガソリンで一方向にふいて脱脂する。

アドバイス：脱脂作業要領書（別紙）を参照してください。

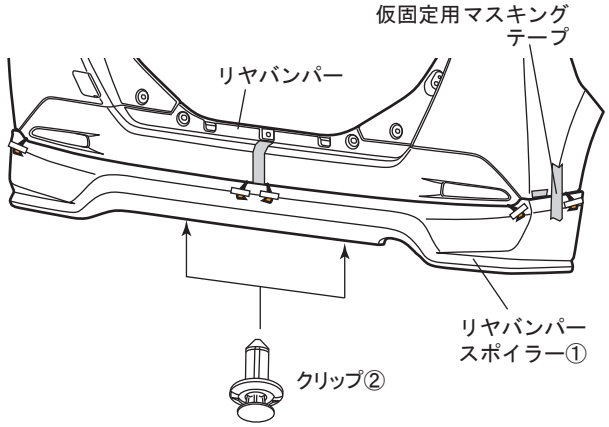
アドバイス：脱脂作業を行う際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

図8



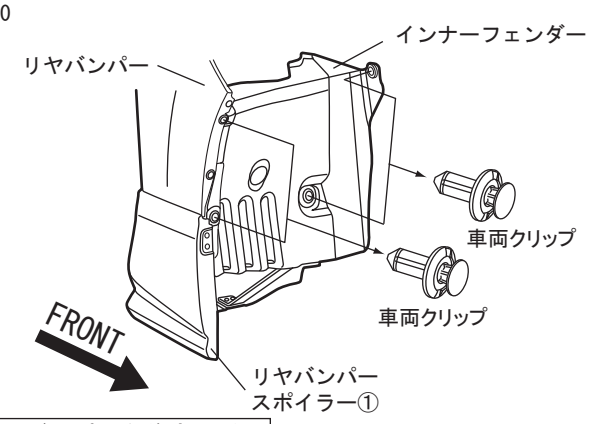
リヤバンパースポイラー右裏面図

図9



リヤバンパー図

図10



リヤバンパー右後方付近図

□取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にＲＨを示しております、ＬＨも同様に行ってください。

1. 図８のようにリヤバンパースポイラー①の離型紙を、中央から外側に約３０㎜剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。

（左右各３箇所）

⚠注意：指示部以外の両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

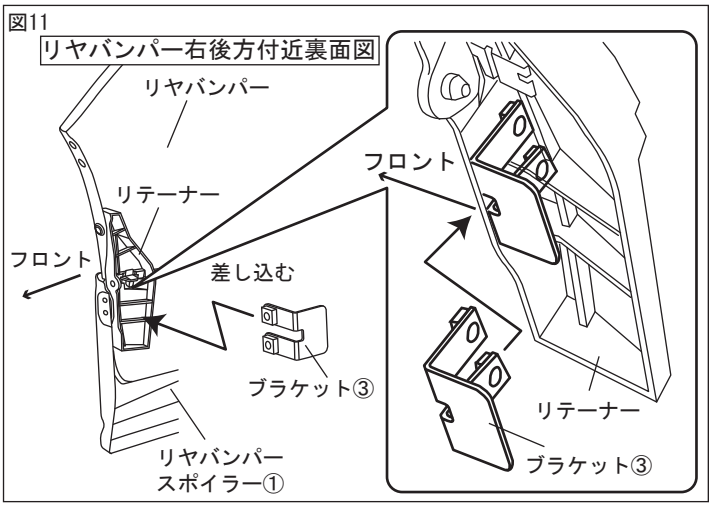
2. 図９のようにリヤバンパーにリヤバンパースポイラー①をかぶせ、クリップ②(左右各１箇所)で固定し、マスキングテープ等で仮固定する。

3. 図10のように車両クリップを外し、インナーフェンダーを取り外す。

（左右各４箇所）

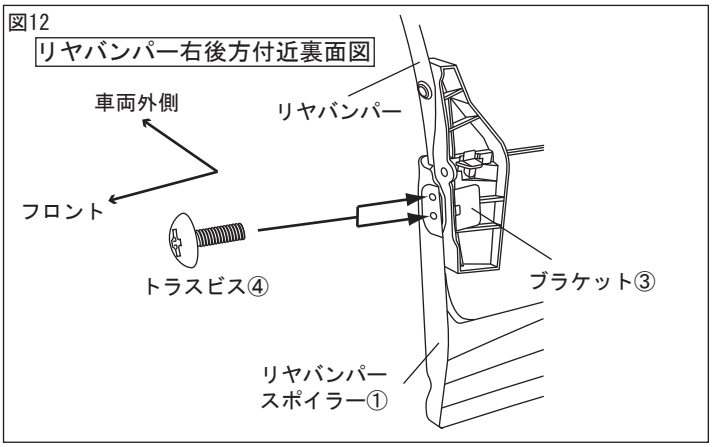
⚠注意：取外した車両クリップ・インナーフェンダーは、再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

図11
リヤバンパー右後方付近裏面図



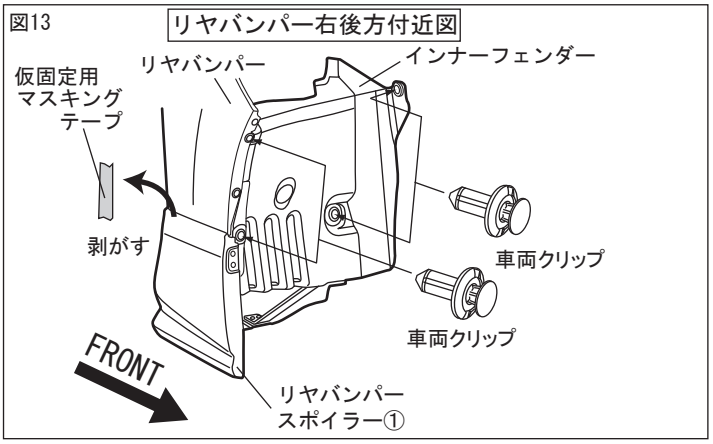
4. 図11のように、ブラケット③をリテーナーのリブの間を通し、リテーナーの穴にブラケット③を差し込む。

図12
リヤバンパー右後方付近裏面図



5. 図12のようにトラスビス④で仮締めをする。
（左右各２箇所）

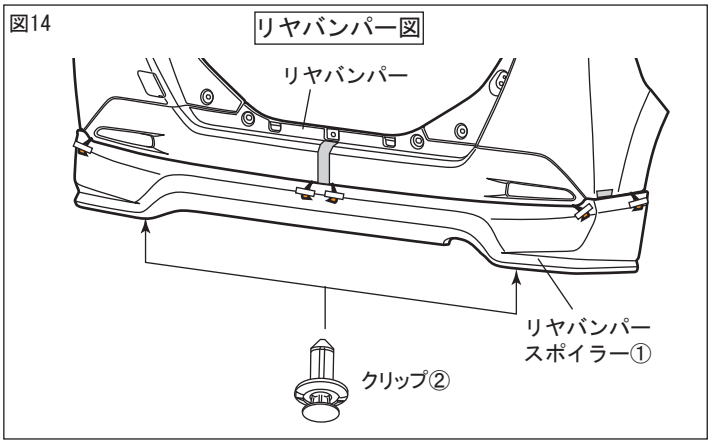
図13
リヤバンパー右後方付近図



6. 図13のようにホイールハウスに、車両クリップでインナーフェンダーを取り付ける。
（左右各４箇所）

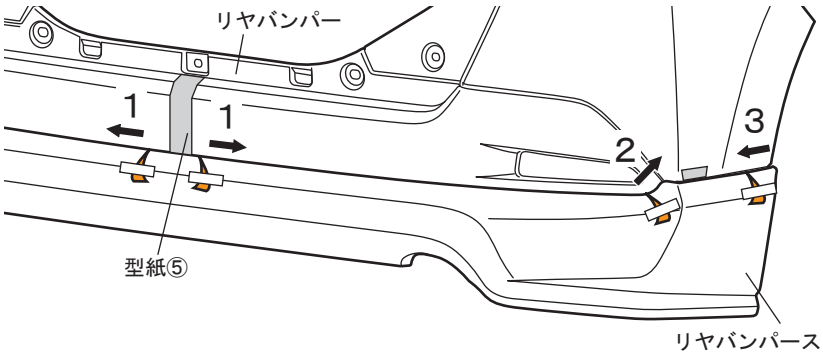
7. 図13のように仮固定用のマスキングテープを剥がす。

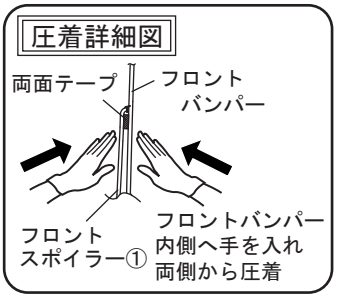
図14
リヤバンパー図



8. 図14のようにフロントバンパー下面にクリップ②でリヤバンパースポイラー①を取り付ける。
（左右各１箇所）

図15 リヤ右後方図





9. 図15を参考にリヤバンパースポイラー①の取付け高さ位置を型紙⑤とマスキングテープに合わせ、左右のズレ、隙が無いか確認し、両面テープの離型紙(左右各３箇所) を番号順に剥がしながら貼付け圧着する。 **{４９Ｎ（５ｋｇｆ）以上}**

⚠ 注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約４０℃程度に暖めてください。

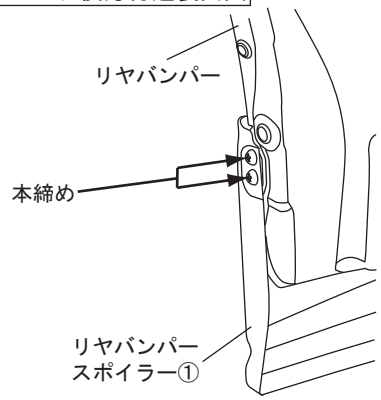
⚠ 注意：両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。

⚠ 警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの発生するおそれがあります。

⚠ 注意：両面テープ接着後２４時間以内は洗車しないでください。

アドバイス：両面テープの接着力は安定するまでに３～５時間程度必要です。製品の取付け後は、最短３時間程度、強い振動や風圧(車両の移動を含む)が、かからないようにオープンタイム(静止時間)をお取りください。

図16 リヤバンパー右後方付近裏面図



10. 図16のように仮固定しておいたトラスビス④を本締めをする。

(左右各２箇所)

アドバイス：オーバートルクでの締付けは、トラスビス・ナットが破損するおそれがあります。

11. 型紙⑤とマスキングテープを剥がします。

■取付完了後の点検・注意事項

1．リヤバンパースポイラー、及びリヤバンパーがクリップ・トラスビスにて、車両に確実に取付けられているか点検する。

2．リヤバンパースポイラー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。

3．製品全周に渡り、浮き、剥がれの無い事を確認する。

■ モール設定　推奨カラー表

カラーNo.	カラー名	推奨モール色
Ｗ２４	ﾊﾟｰﾙﾎﾜｲﾄⅢ	グレー
Ｗ２５	ｼｬｲﾆﾝｸﾞﾎﾜｲﾄﾊﾟｰﾙ	グレー
Ｓ２８	ﾌﾞﾗｲﾄｼﾙﾊﾞｰ	グレー
Ｘ０７	ﾌﾞﾗｯｸﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
Ｘ１７	ｲｴﾛｰｲｯｼｭﾌﾞﾗｯｸ	ブラック
Ｒ６７	ﾌｧｲｱｰｸｫｰﾂﾚｯﾄﾞﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
Ｒ５９	ﾌﾟﾗﾑﾌﾞﾗｳﾝﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
Ｂ８２	ﾚｰｻﾞｰﾌﾞﾙｰｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ	ブラック
Ｂ８６	ﾀｰｺｲｽﾞﾌﾞﾙｰﾏｲｶﾒﾀﾘｯｸ	ブラック
Ｐ１９	ｸｰﾙﾊﾞｲｵﾚｯﾄｸﾘｽﾀﾙｼｬｲﾝ	ブラック
Ｇ６５	ｸﾞﾚｲｯｼｭｵﾘｰﾌﾞ	ブラック

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
https://www.trdparts.jp/

脱脂作業要領書

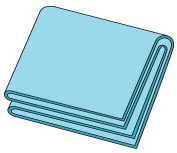
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

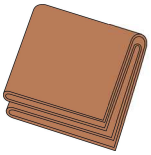
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

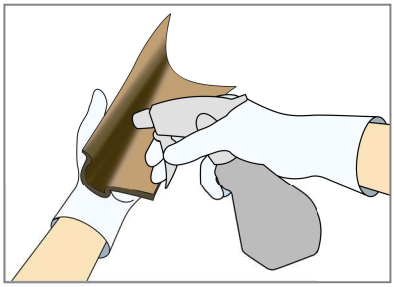

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

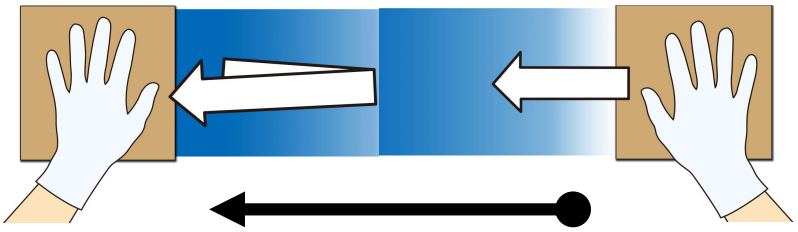


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

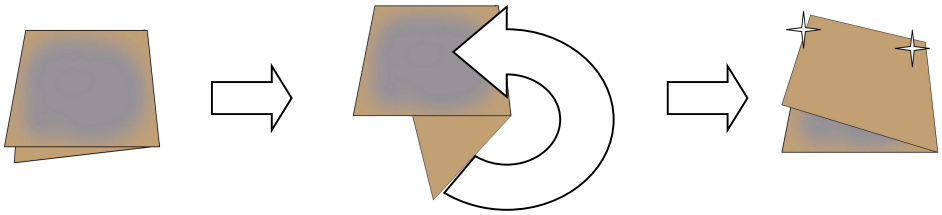
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。